

令和4年度 学力向上指導改善プラン

三田市立ゆりのき台中学校長 南波 克典

学校教育目標		「命」と「心」を大切に、「夢」を描き、輝かしい「未来」に向け前進する生徒の育成	4月		2～3月	
推進主体		研究推進委員会	学力向上に向けての重点的な目標		年度末評価	
			(指標となる数値等)	(成果目標達成のための具体的な手立て等)	(今年度の成果と来年度に向けた課題等)	評価
学力に関する前年度の状況・経年の課題等						
学 力 の 状 況	これまでの全国学力・学習状況調査結果の状況(教科に関する質問紙調査の結果も含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体をとおして、優良な結果である。</li> <li>【国語】 <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な敬語に書き直し、その敬語の種類と適当なものを選択するという設問では、全国平均を20ポイント以上上回った。豊富な示キキャリアと、適切な敬語表現を身に付けていることがうかがえる。</li> <li>「読むこと」の領域にすこし課題が見られる。明治・大正時代の作品に出てくる語句や言い回しについて、正しく把握できていないため、全国正答率を3ポイント下回った。今後は、古典文学に多く触れさせた学習が必要である。</li> </ul> </li> <li>【数学】 <ul style="list-style-type: none"> <li>示された図形の面積の求め方を説明する設問では、正答率が8割を超えており、図形の面積を求めることについての理解が高まっている。今後は改めて面積を求めるだけでなく、求めるために必要な辺の長さを図示し、説明を加える学習を進めていることが成果につながった。</li> <li>理由を説明する設問に課題があり、条件が揃っている解答が多くみられる。問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。図やグラフ、文章など様々な表現された情報に関連付け、条件を整理する活動を積極的に取り入れる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「キャリア教育・進路指導」に対する肯定的回答の割合：学校評価アンケート ⇒生徒90% 保護者80% 以上</li> <li>○「将来の夢や目標を持っている」と答える生徒の割合：全国学力・学習状況調査 ⇒70%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内キャリア教育推進体制の強化と校区内異校種間連携体制の整備を図る。</li> <li>・キャリアパスポートの活用を推進する。中学校卒業後も振り返りに活用する意識づけをする。</li> <li>・「コロナ禍」における「トライやる・ウィーク(2年)」は、感染症予防に努めながら、体験活動の充実を図る。</li> </ul>		
	定期テスト、単元テストなどによる状況(各教科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒たちは各自でしっかりと、目標を定めて取り組んでいる。</li> <li>学校評価アンケートに、定期考査の難易度が高すぎるとの回答が見られた。指導と評価の一体化についての研究が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「特色ある学校づくり」に対する肯定的回答の割合：学校評価アンケート ⇒生徒70% 保護者80% 以上</li> <li>○タブレットなどICT機器を活用した授業を行った教員の割合 ⇒100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前から、12年間を見通した教育を推進するため、小中高校連携を図る。</li> <li>・タブレットの使用等ICTを活用した学習活動をおとして、情報活用能力の育成を図る。</li> <li>・伝統や文化に関する教育を推進し、特色ある学校づくりに努める。</li> </ul>		
	授業等からうかがえる状況(各教科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>総じて落ち着いた授業態度である。</li> <li>主眼的・対話的で深い学びの深化を図るための更なる研究が必要である。</li> <li>一人一台タブレット端末が支給されている。このICT機器を上手に活用して、主体的に学ぶ力を育成する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学校教育目標の達成」に対する肯定的回答の割合：学校評価アンケート ⇒生徒90% 保護者90% 以上</li> <li>○「読書が好き」と答える生徒の割合：全国学力・学習状況調査 ⇒70%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究推進委員会を中心に、全国学力・学習状況調査等を活用し、学力向上に努める。</li> <li>・朝読書、朝学習、がんばりタイム、タブレット端末の活用等により一人一人の確かな学力の育成を図る。</li> <li>・「さんだっ子読書通帳」の活用により、小学校時代から続ける読書活動の充実を図る。</li> </ul>		
償学・力生向上習に係等るの学習状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習に対して非常に意欲が高い生徒、自分で計画を立て、長時間学習に動いている生徒の比率が高い。</li> <li>学習にICT機器を使うことで効果があると思っている生徒の比率が高く、普段からICT機器を使用している生徒の比率も高い。</li> <li>「学習指導」(学校評価アンケート)についての肯定的評価が、生徒は91%となっているが、保護者は88%と差がある。</li> <li>注目している地域の行事への参加に課題がある。コロナ禍での交流はなかなか難しいが、昨年度は地域の方々から講演をしていただいた(交流の場を設けることができた。今後は、トライやるウィークをはじめとした学校行事や生徒会活動を通じ、コロナ禍ではあるが可能な限り地域に住んでいる方々との交流の機会をつくっていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「開かれた学校づくり」に対する肯定的回答の割合：学校評価アンケート ⇒生徒90% 保護者90% 以上</li> <li>○ゆりのき台中学校区学校園各種「連絡会」「研修会」の開催回数 ⇒計10回 以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの連続性」を意識したゆりのき台中学校区での連携の深化を図る。</li> <li>・学校園所連携推進に係る各種「ゆりのき台中学校区連絡会」「研修会」の充実を図る。</li> </ul>			
校内研究の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学び合い、対話を通して深め合える授業づくり～GIGAスクール構想に向けて～をテーマにタブレット端末を活用した授業づくりについて研究を推進している。</li> <li>「防災教育」「特色ある学校づくり」が課題である。</li> </ul>					
校内研修の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常の研修に加え、タブレット端末を活用した主体的・対話的で深い学び実現のためのグループでの研修を推進する。研究発表大会で成果を広く発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学習指導」に対する肯定的回答の割合：学校評価アンケート ⇒生徒90% 保護者85% 以上</li> <li>○授業公開をした教員の割合 ⇒100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「未来を創造し、心豊かに『生きる力』を育む『情報』教育」をテーマに、三田市教育委員会特別指定研究に取り組む。研究発表会を行う。</li> <li>・学期に一度、教員対象の授業公開期間を設ける。</li> <li>・講師を招聘し、授業研究会を実施する。</li> </ul>			
家庭・地域との状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭・地域との連携のもと、放課後や夏休みにもタブレット端末を利用して学力補充を進める必要がある。</li> </ul>					
小・中における教科連携等の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>小・中の教科毎の連携から、キャリア教育と道徳教育を軸とした、系統性を重視したカリキュラム連携への発展を目指す。</li> </ul>					